

行政改革の進捗状況は



お か さ わ き よ し
岡 沢 議員

質問 計画の達成状況及び現時点での総合評価は。

答弁（総務部長） 第3次

行政改革大綱で、①村民サービス改革、②地方分権改革、③機構改革、④財政改革の4つの柱として取り組んでいる。

村民サービス改革では、各種申請書や証明書の簡素化、利便性の向上に取り組んでいる。村政情報の発信では、情報公開と保護制度の充実を図り、審議会等の一般公開については、会議の公開要綱を制定し、今年度10月から実施を予定している。パブリックコメントを制度化し、第6次美浦村

総合計画等4つの計画について実施した。接遇の推進マニュアルを活用し、また、庁内ロビーに総合窓口を設置し、好評を得ている。

地方分権改革では、政策形成・総合調整機能の充実、行政運営における生産性向上、職員の意識改革と人材育成の推進等に取り組んでいる。事業計画の策定・推進に当たっては、ワーキングチームを設置し、協議・検討を行い、定着化が図られている。

機構改革では、スクラップ・アンド・ビルドを基本に事務事業の見直し、評価を実施している。入札・契約事務の透明化、事務事業の民間委託、組織機構の見直し、情報化サービスの向上、ICT推進に取り組んでいる。庁内LAN等のOA化、学校でのパソコン機器の利用が実現している。



光と風の丘公園

財政改革では、総合的な歳入の確保と歳出の削減を基本に、一層の経費節減に努め、健全な財政運営を図りたい。

答弁（村長） 議会でのペー

パーレス化、学校での電子黒板とタブレット授業などの成果が表れてきている。このICTも含めた斬新な計画は、議会の協力がないと達成できない。大きな市よりも、一歩先んじた施策を講じなければ、美浦村が埋没しかねない。全国に美浦村を発信し、注目を浴びるような行政づくりができれば、村民と協働のまちづくりができると思っている。

児童館指定管理者制移行後の運営は

答弁（保健福祉部長） 平

成25年度より放課後児童クラブの利用時間を平日は30分延長、学校休校日は1時間延長、児童館長が二つの児童館を兼務していたが、大谷時計台児童館、木原城山児童館とも一人ずつの館長とし、管理体制が充実。平成25年度は、前年度比で960万円の経費節減となった。また、児童及び保護者のアンケートからは、児童館及び放課後児童クラブについて、おおむね良好に運営されているとの結果になっている。



大谷時計台児童館